



東海村

議会だより

第51号

2023.1

目次

12月定例会

- 村松幼稚園舎改修費を可決 / 臨時会…………… P 2
- 村政を問う！〔一般質問〕…………… P 3～9
- 賛否の分かれた議案、討論…………… P 9
- 3月定例会日程（予定） / マイストーリー…………… P 10

12月議会 あらまし

令和4年第4回定例会（12月議会）は、12月1日に開会し、12月20日までの会期で開催しました。9日、12日、13日の3日間に11人の議員が一般質問を行いました。

14日の予算決算委員会では補正予算を審査し、20日の議案審議では一般会計補正予算など村長提出議案16件全てを可決しました。

※全議案の議決結果はホームページでご覧いただけます。



村松幼稚園舎改修費を可決

議案第150号 一般会計補正予算（第8号）

村松幼稚園の園舎改修工事のうち、受変電設備及び昇降機設置工事について、部品・資材等の供給網に影響が出ていることから先行発注のための補正予算が提出され、議会は全会一致で可決しました。

議会は幼稚園の再編整備について、今後も注視していきます。

■予算額 2,758万円



▲村松幼稚園

第1回臨時会

去る11月7日には、令和4年第1回臨時会を開催し、専決処分の承認1件、物価高騰対策として子育て世帯への給付事業、農業生産に伴う補助事業の補正予算を全会一致で可決・承認しました。

住民の暮らし・子育て・農業を支援

承認第8号 一般会計補正予算(第6号)

【電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金】

電力・ガス・食料品等の価格高騰を受け、住民税非課税世帯等に対して、1世帯当たり5万円を支給します。

■予算額 1億6,064万円



議案第145号 一般会計補正予算(第7号)

【子育て世帯くらし応援特別給付金】

食料品等の物価高騰の影響を受け、収入に関わらず村内の子育て世代（高校生以下）に児童一人当たり1万円を給付します。

■予算額 7,166万円

【農業生産資材費等高騰対策】

農業生産資材等の価格が高騰していることから、農業者の負担軽減のため農業生産にかかる費用（上限10万円）を給付します。

■予算額 2,133万円

※各議員の賛否と討論はP.9に掲載

村政を問う!

一般質問

※青字の質問を掲載。
※議会ホームページでも
ご覧いただけます。

東海村議会

検索



三上 修 議員 P.4

- 1 村松北と須和間地区の買い物対策
- 2 中学生の地域活動参画による社会教育実施
- 3 コロナワクチンの接種率向上対策
- 4 今冬の電力不足と電気代高騰対策

恵利 いつ 議員 P.4

- 1 基礎自治体として取り組む
カーボンニュートラル政策
- 2 火災や自然災害等に備えた防災訓練の取組
- 3 行政が行うアンケート調査

岡崎 悟 議員 P.5

- 1 単品スライド条項の運用について
- 2 本村の節電対策について
- 3 公共施設水道蛇口の自動水栓化について

舛井 文夫 議員 P.5

- 1 学校校舎の改築計画及び校庭内の樹木の
管理について
- 2 東海スマート IC の大型化について
- 3 メガソーラーの現況について
- 4 老人福祉施設について
- 5 ビオトープの現況について
- 6 令和5年度予算について
- 7 東海駅東口広場の再整備について

阿部 功志 議員 P.6

- 1 小中学校における原発事故避難教育と
放射線教育のあり方は
- 2 避難所とそこへの職員の割り振りは
- 3 交流館の今後の運営の方向は
- 4 通学路特に交差点へのポラード（防護杭）
設置の予定は
- 5 「買い物難民」対策で、デマンドやバスの
運行の再検討は
- 6 ゴミ集積所の問題の対策は

笹嶋 士郎 議員 P.6

- 1 村立保育所・幼稚園等の会計年度任用職員に
ついて
- 2 南中学校側の無電柱化について
- 3 省エネ設備設置補助事業について

植木 伸寿 議員 P.7

- 1 子育て支援拡充の取組は
- 2 今後の DX への取組は
- 3 地域づくりに向けた社会教育の取組は

大名 美恵子 議員 P.7

- 1 東海第二原発の再稼働問題関連
- 2 フリーアドレス導入の考え方について
- 3 なごみで実施されている事業の今後について

大内 則夫 議員 P.8

- 1 平原工業団地内の村道利用について
- 2 とうかい住まいる応援事業について
- 3 中央地区区画整理事業の進捗状況と（仮称）
神楽沢近隣公園について

武部 慎一 議員 P.8

- 1 学校改革
インクルーシブ教育の現状と今後について
- 2 学校改革
フリースクールの現状と今後について
- 3 学校改革
子どもたちの教育環境を取り巻く状況
- 4 人材育成
生涯学習とリカレント教育の必要性

吉田 充宏 議員 P.9

- 1 広域避難計画の公表に向けた今後の取組に
ついて
- 2 不登校問題について
- 3 東海村の魅力度アップについて
- 4 まちづくりにおける村民との対話について

問 村松北と須和間の 買い物対策は

答 変化を捉え選ばれるまちを目指す



新政とうかい
みかみ おさむ 議員
三上 修

問 村松北地区のスーパーマーケットが、去る11月に閉店した。生活基盤の撤退が住民生活に与える影響は計り知れない。今後の跡地の利用計画はいかに。

答 村松北地区のスーパーマーケット跡地の動向は、住民生活の基盤である買い物に関わるため注視していく。

問 須和間地区は市街化調整区域であることからスーパーマーケットの建築は難しいが、進出を希望する事業者の動向はいかに。

答 市街化調整区域内にスーパーマーケット

を建築することは、都市計画法上難しい。一方で、区域区分を定めてから約50年が経過して、村内の土地利用も大きく変化した。全国的な少子高齢化に対応する必要もあるため、このほど市街化調整区域の土地利用の在り方を検討するための基礎調査に着手した。今後は、各計画との整合性を図りつつ、市街化調整区域本来の目的を保ちながら、現在事業が進む幹線道路整備も視野に入れ、引き続き選ばれるまちづくりの推進に努める。



スーパーマーケットは重要な生活基盤

問 CO₂ ゼロ、残された 時間はわずか

答 創エネ・省エネの両輪で取り組む



光風会
えり かつ 議員
恵利 いつ

問 気候変動を世界中の多くの若者が危機感をもって捉えている。2050年CO₂ゼロ達成（脱炭素社会）に向けた村の取り組みは。

答 公共施設への更なる再エネ導入を検討中。一般家庭への太陽光発電システム設置への補助を継続、さらに高断熱窓設置の支援を開始した。庁舎などのエコオフィスプランでは令和元年度比25%減というチャレンジングな目標を掲げた。

問 CO₂ゼロ達成のために太陽光発電設置の村の明確な目標値

はあるのか。

答 村の目標値は定めていないが、政府目標が一つの基準と考える。

問 電源立地交付金や電力会社からの税収をCO₂ゼロ政策に活用すれば、コミセンなどの駐車場にも太陽光発電を設置できると考える。住民への強力なメッセージを感じることができない。住民や事業者にも積極的に協力を求めるべき。

答 カーボンニュートラル実現にはさまざまな主体による取り組みが必要。アピールの場を増やしていく。



役場南側駐車場に設置されている太陽光発電システム

問 公共トイレ蛇口の 自動水栓化を

答 耐用年数を前提に前向きに検討

問 阿漕ヶ浦公園トイレ手洗い場の蛇口は自動水栓式で、最近作った大型遊具脇の休憩室トイレと多目的トイレは接触式である。また、東海駅東第4公園トイレ手洗い場の蛇口はプッシュ式で、その脇の多目的トイレは自動水栓式である。最近作ったトイレでも蛇口の形態が異なっている。新しく作るトイレを単純に自動水栓化しているのではないようだ。どんな基準で蛇口を選択しているのか。その上で、非接触式の自動水栓は、ウイルス感染



公明党
おかざき さとる 議員
岡崎 悟



公共施設の上下式蛇口

予防対策や節水に有効と考える。本村の考えは。
答 都市公園15か所のうち6か所にトイレが設置されており、その内3か所を自動水栓化している。蛇口選択の根拠としては、建築上の明確な基準等は無く、公園の規模や建築当時の財政状況から慎重に選択してきた。自動水栓化は、感染症予防対策や節水に寄与することから既存施設の適正な維持管理を大前提に、耐用年数を迎えた施設については前向きに検討していく。

問 東海駅東口の 再整備の計画は

答 ニーズを捉え丁寧に進めていく

問 東海駅東口については、どのような計画でいつまでに再整備するのか。どこをどのように変更するのか、状況を伺う。
答 現在、整備計画の策定に向けて鋭意検討を進めている。半導体不足や物価高騰などの新たな課題に対しさまざまな見極めが必要な状況となっている。日々変化するニーズを捉え、真に必要なものは何なのか、改めて考えを整理する必要性を感じている。駅を拠点としたまちづくりにおいても駅前広場の役割は重要。



新政とうかい
ますい ふみお 議員
舛井 文夫



駅前広場の様子 (R4.12.15 現在)

今後は、役場内部だけでなく、広く村民の意見を確認するため、アンケートを行うなど丁寧に再整備プランの策定を進めていく。
問 東口は、イオンを始めとしてさまざまな商業施設ができており、東海村の玄関口である。抜本的に考えを変えて、面積の決まっている駅前広場では水戸駅南口のようにペDESTリアンデッキを設置して空間を活用すべき。
答 具体的に答える段階ではないが何が必要なのか、広く村民の意見を確認し進めていく。

問 県の避難所の割り振り、進展度は

答 一人当たり 3 m²を目安の方針のみ



あべ こうし 議員
阿部 功志

問 広域避難計画で県が割り振る避難先の割り振りの進展度は。

答 10月27日に国・県・避難先14市町村による意見交換会が開かれた。避難所については、パティションの確保を前提に一人当たり3 m²を目安として確保するために避難先自治体と協議する方針が示されたのみで、その後の協議状況は示されていない。パティションの確保は今後県が方針を示す。各避難所の避難者数や必要な職員数は状況把握等に努め、人員不足の場合は国等に要請したい。

問 最初は一人当たり2 m²だったが3 m²に変わり、各自治体の避難計画は再出発。各課題は実現困難で、避難所の問題一つとっても避難計画は破綻している。実効性のある避難計画が策定できるまできちっとやるのか。

答 県が避難所の拡充に向けて検討中。「原子力災害対策指針」や「防災基本計画」に従って、自治体の責務として取り組んでいる。引き続き首長としての責任において、しっかりと策定していきたい。



避難時に組み立てる段ボールベッド

問 保育所・幼稚園の正規職員増を

答 年度途中採用も含め柔軟に対応を



新政とうかい
ささしま しろう 議員
笹嶋 士郎

問 送迎バス園児置き去り事故、園児虐待事件など大変痛ましくやりきれない事件事故が起きている。この根底には、人員不足や低賃金などの職場環境が大きく関わっている。数年かけて幼稚園等の正規職員を増員すべき。

答 職員採用計画に基づき、退職者の補充を基本に、年齢構成のバランスや行政課題の対応などを考慮して行ってきた。今後も職場環境や業務内容などを十分に精査した上で、必要な正規職員を採用・配置をしていく。

問 保育所・幼稚園の現場で子どもを守るためには、職場環境の改善となる正規職員を増やすことが安心安全につながる。年度途中に対応を求められるケースも多いとのことだが、4月の新規採用とは別に経験者の中途採用を行ってはどうか。

答 近年、採用活動や人材確保の考え方が変わり多様化している中で、都市部への志向が強い保育士・幼稚園教諭も採用が難しい職種の一つ。年度途中での採用も含めて柔軟に対応したい。



職員が働いている保育所

問 地域づくりへの 社会教育の取組は

答 団体同士の有機的つながりで推進



公明党 議員
うえき しんじゅ 植木 伸寿

問 県内では、公民館を活用した社会教育の取り組みが人材育成や人材の掘り起こしに結びついたとの報告が示されている。また、社会教育は「人づくり」「つながりづくり」「地域づくり」を推進する役割も担っていると考えられる。そこで本村の考える社会教育に向けた取り組みなど見解を伺う。また、公民館を活用した社会教育をどう推進しているのか。

答 社会教育の取り組みとして、個人の趣味や教養を深める目的に加え「人づくり」「つ

ながりづくり」「地域づくり」などが重要な使命として位置付けられており、一層の振興が不可欠と考えている。公民館活用については、県内の公民館とは同様の活動が十分ではないが、歴史と未来の交流館をはじめ図書館、公民館、文化センター、スポーツ施設など多彩な活動を互いに連帯し実施している。今後は、複数の団体同士の有機的なつながりを推進し、社会教育の一翼を担いまちづくりの役割や機能を果たしたい。



中央公民館で行われたシニアのための
スマホ講座

問 「なごみ」は廃止せず 存続すべき

答 関係部署と協議し、方向性を決定



公明党 議員
おおの みこ 大野 美恵子

問 村民に身近で十分なじんだ公共施設は簡単に廃止すべきでない。また住民に直接関わるこの大転換は一方的な押し付け型でやってはならない。施設は無くさず、活用する事業を集めて活発な利用を促すことが重要。

答 なごみは、総合相談支援課の移転に伴い、今後の利活用が課題。財政経営課を中心に検討を進めている。なごみの空いているスペースに他の施設で実施している事業を配置転換することも一つの方法と考えるが、村は「東

海村公共施設等総合管理計画」に「将来にわたって現状のサービスを維持していくためには、公共建築物の延床面積換算で25%の削減が必要」と数値目標を掲げており、「公共施設全体の適正配置」の視点を持ちつつ、社会構造の変化等も見極めながら新たな住民サービスの在り方を検討、方向性を決めていきたい。



避難滑り台が設置されている「なごみ」施設

問 これまでの関係課協議の内容は。

答 現状や課題について共有し、喫緊の課題から検討している。

問 中央区画整理事業と公園の進捗は

答 事業の終結は令和10年を目指す



新政とうかい
おおうちのりお 大内 則夫 議員

問 中央土地区画整理事業の令和5年度の事業予定は。

答 令和5年度の工事予定は物件移転補償1件、道路工事2路線、擁壁設置工事7件、軟弱地盤対策工事2件を計画している。

問 中央土地区画整理事業の終結はいつになるのか。

答 事業計画では、令和5年度までの事業終了となっている。これからも事業を継続する必要があり、今年度から取り掛かっている事業計画の変更及び見直し内容の洗い出しを



公園のシンボルツリー付近に、大型滑り台を設置

め、事業実施期間は、5年先を用途とした延長を予定している。

問 (仮称) 神楽沢近隣公園の整備状況について伺う。

答 神楽沢近隣公園の整備状況は、今年度に予定の30%が進捗し、シンボルツリーでもあるモミの木などを設置した。令和5年度の予定は大型滑り台(長さ28メートル、高さ5.7メートル)やバスケットコート、ボール遊びが出来る芝生公園、水遊び用のせせらぎなどを整備して令和6年の開園を目指す。

問 学校と地域を取り巻く教育環境

答 各種関係団体との連携が不可欠

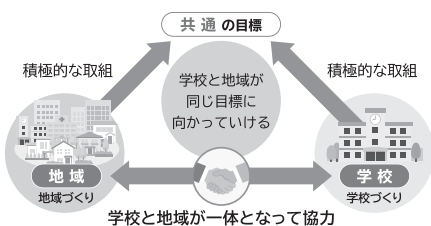


新政とうかい
たけべしんいち 武部 慎一 議員

問 社会状況の変化が多様化、複雑化するなか、少子化が加速的に進んでいる。学校の統廃合や廃止が進み、さらに学区を中心にした地域コミュニティの衰退も懸念される。国は、学区を中心に学校づくりと地域コミュニティの活性化を進めている。学校環境は多様化、複雑化し、教員だけでなく対応が困難な状況である。教員が子どもと向き合う時間を確保するために、何ができるのか考えを伺う。

答 学校現場では、いじめや不登校、ヤング

ケアラー等、多種多様で複雑化した課題に直面し、学校だけでは解決が困難なケースもある。課題解決には、学校、教育委員会、福祉部、児童相談所などの相談機関が連携していくことが不可欠である。教員の負担が増加し、児童生徒と向き合う時間の減少により、教育の質の低下が懸念される。児童生徒と向き合う時間を確保するため、令和5年度から休日部活動の地域クラブへの段階的な移行について準備を進めている。



学校と地域が一体となって協力

問 広域避難計画の公表に向けては

答 公表に向けた準備に取り掛かる



新政とうかい
よしだ みちひろ 議員
吉田 充宏

問 広域避難訓練は平成29年度より行っており、守谷市の訓練が終了したが、広域避難計画に盛り込むべき内容はあるのか。

答 現時点では、新たに盛り込むべき事項として今回の訓練を通して確認されたものは、特にない。

問 過去の避難訓練においても避難計画案の改定はほぼ無く、原子力災害対策指針に定められていることはすでに計画案に記載されている。山田村長は守谷市の訓練終了後に「一つの区切り」と発言し

ており、年度末に広域避難計画を公表すべきではないか。

答 訓練を通して3市と受入態勢の確認ができ、検証結果の整理時期に来ている。議会では広域避難計画に関する請願採択や意見書可決、タウンミーティングの参加者から避難計画ができていないことを知らなかったとの声や原子力災害時の行動が分からないとの声を聞いている。初動などを周知することが重要であると考えており、時期は未定だが、公表に向けた準備に取り掛かる。



広域避難訓練の様子

各議員の賛否（議案などで賛否の分かれたもの）

議員名 議案等名	新政とうかい									光風会	公明党				結果			
	飛田 静幸	舛井 文夫	大内 則夫	越智 辰哉	河野 健一	武部 慎一	吉田 充宏	寺門 定範	笹嶋 士郎	三上 修	江田 五六	恵利 いつ	岡崎 悟	植木 伸寿		大名美恵子	村上 孝	阿部 功志
議案第158号	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	×	×	○	欠席	○	○	○	○	可決

○…賛成

×…反対

*議長は賛否同数の場合のみ採決に参加します。

賛否の分かれた議案の名称と要旨

議案第158号	令和4年度東海村一般会計補正予算（第9号） 人事院勧告及び国家公務員等の給与改定に伴う一般職及び特別職の給与改定、社会福祉施設等物価高騰対策緊急支援金の支給等に必要予算措置を講じるもの
---------	---

討論
討論とは…
自分の意見（賛成または反対）を表明し、その意見に反対する議員、賛否の意思を決めていない議員を、自分の意見に賛同させることを目的に行うものです。

議案第149号

東海村公共施設等総合管理推進基金の設置、管理及び処分に関する条例の制定について

賛成
光風会
江田 五六 議員

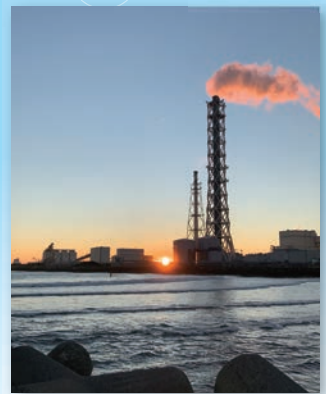
維持管理費が掛かる施設が多く、計画的で実効性ある整備のための基金には賛成。基金設立により、子どもたちのために積み立てた2つの基金約2億6千万円が廃止。それを「給食費の無償化」など子育て支援に充てることを提案。

議案第158号

反対
光風会
江田 五六 議員

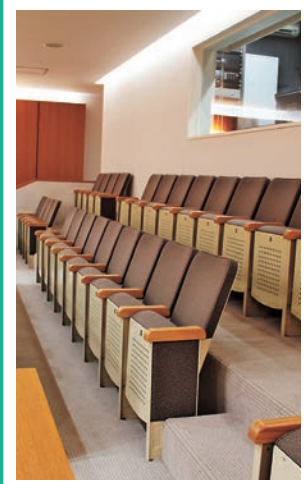
事業者への物価高騰対策としての支援には反対しないが、補正予算での拙速な支援には反対である。事業者には、今後厳しい環境が続く。十分な議論をし、事業継承に役に立つ支援策を来年度の予算として計上すべき。

表紙写真の紹介



未来へ

村松海岸の新川河口から望む常陸那珂火力発電所に昇る日の出。
午前6時半過ぎに現れた見事な朝日は、一斉に飛び立つ鳥たちに迎えられ、皆様のご健勝を願いながら、本村の明るい未来を照らすまばゆい光を放ちました。



傍聴から
はじめよう!

どなたでも傍聴できます。役場議会棟2階にお越しください。(受付は30分前から)

傍聴の定員は
20名
(感染症対策で人数を制限しています。)

3月定例会日程(予定)

村内各コミセン
総合福祉センター「絆」
でライブ配信中

期日	時間	内容
3月 1日(水)	午後1時～	開会
3月 9日(木)	午前10時～	代表質問
3月10日(金)	午前10時～	一般質問
3月13日(月)	午後1時～	一般質問
3月14日(火)	午前10時～	一般質問

期日	時間	内容
3月15日(水)	午前9時～	予算決算委員会
3月16日(木)	午前9時～	予算決算委員会
3月17日(金)	午前9時～	予算決算委員会
3月22日(水)	午前10時～	予算決算委員会
3月27日(月)	午前10時～	議案審議

※日程は変更になる場合があります。
※開会・一般質問・議案審議は、議会棟2階の議会事務局窓口で住所・氏名等を記載するだけで、どなたでも傍聴できます。



東海村らしい風景を残してこのころ



多年に渡りお疲れさまでした。



幸多き日々になるよう祈っています

マイストーリー
SNAPSHOT
Vol.4
冬の思い出

村内の冬の風景などをご紹介します。たくさんのご応募ありがとうございました。



子どもたちの未来を照らすイルミネーション

みなさんの「四季の思い出」写真を募集します。

〈応募方法〉メールまたは郵送でご応募ください。
 〈郵送先〉〒319-1192 那珂郡東海村東海 3-7-1 東海村役場議会事務局
 〈応募条件〉村内在住・在勤の方 〈必要事項〉①写真 ②応募用紙(議会ホームページからダウンロードできます。)
 〈メール先〉gikaijimu@vill.tokai.ibaraki.jp 〈募集期間〉令和5年3月30日まで